**目　的**

日本コミュニティ心理学会第25回大会発表論文集書式

(タイトル、MSゴシック、原則14ポイント、中央揃え)

学会 花子 (○○相談室) 大会 太郎 (○○大学)

(発表者名、所属ともにMS明朝、原則12ポイント、中央揃え)

**分量**　今大会の原稿の分量は1ページです。余白や行数などの書式は変更できません。

**本文の作成**　本文の文字サイズは10ポイント、フォントについては、見出しはボールド (太字)のMSゴシック、本文はMS明朝、英数字は半角でTimes New Romanで作成してください。

見出しは基本的に大見出しと小見出しの2つを用いてください。大見出しとはテンプレート上の「目　的」「方　法」などの部分です。小見出しとは本節の「分量」「本文の作成」などの部分です。

**方　法**

**倫理的配慮**　所属機関の倫理委員会等から承認を受けている場合は、承認番号等を含めてその旨記載してください。

倫理審査を受けていない場合は、説明と同意について簡潔に記載してください。

※ 発表に際して、必ずしも記載例のような配慮がなされていることを求めるものではありません。原稿作成にあたっては、研究の実態に応じて記載してください。

――――倫理的配慮の記載例―――――

【倫理審査委員会等の承認を受けている場合】

**倫理的配慮**　本研究は、●●大学研究倫理委員会の承認を得て実施した (承認番号0000)。

【倫理委員会等の承認を受けていない場合①】

**倫理的配慮**　事前に、研究協力者の自由意志、匿名性の確保、同意撤回について文書及び口頭で説明し口頭で同意を得た。

【倫理委員会等の承認を受けていない場合②】

**倫理的配慮**　調査票のフェイスシートに、回答は自由意志であること、回答の匿名性が確保されることを明記し、調査票への回答をもって同意とみなした。

――――――――――――――――――

**結　果**

**図表の挿入**　本文中に図表を挿入しても構いません。図表部分は2段組みでなくても構いません。図表は以下の要領で作成してください。

(1) 図表のタイトルは、表の上に例の通り記載する。Figure番号及びTable番号は左揃え、ボールド体 (太字)。

(2) 表では縦罫線を極力使わない。

(3) 本文中に参照先の図表を示す場合も、Figure 1、Table 1と英語で記載する。

――――図表の記載例――――

【本文中の記載例】

クラスター分析の結果、3つのクラスターが抽出された (Figure 1)。

【本文中の記載例】

Table 1に分散分析の結果を示した。

※ 挿入した図表を選択して、右クリックのメニューで「文字列の折り返し」を「前面」か「背面」に設定すると、本文の段組みや改行位置等を無視して図表を配置できます。この設定を使うと、本文の文字列が図表に隠れて見えなくなることがあります。その際は改行で文字列の位置を調整してください。原稿の余白を適切に確保できる範囲で位置を調整してください。

**考　察**

結果を踏まえ考察を記載してください。

**引用・参考文献**

引用文献とは本文中に引用した文献で、参考文献は必ずしもそうではありません。いずれにせよ、他の研究者がその文献の同定し検索できるように

正確に情報を記載してください。記載方法はコミュニティ心理学研究の「執筆・投稿のてびき」最新版に準じてください。

なお、引用・参考文献の記載は必須ではありません。

**付記**

利益相反がある場合はその旨記載してください。研究助成、謝辞は必要に応じて記載してください。

――――付記の記載例――――

【開示すべき利益相反のある場合】

発表に関連し、コミュニティ心理学株式会社と利益相反関係にある。

 (発表者名、9pt、右揃え) (GAKKAI Hanako, TAIKAI Tarou)